

株主・投資家の皆さまへ

OLC

株式会社 オリエンタルランド

株主通信

【証券コード 4661】

2007年秋冬号 年2回発行

CONTENTS

2007年度中間期の業績概況

- ハイライト 1
- ハイライト 事業セグメント別 3
- 連結決算レポート 5

今後の成長戦略

- トップメッセージ 7
- 2007年度通期予想 8
- 特集:東京ディズニーリゾート 25th アニバーサリー 9

イベントカレンダー

11

OLC フォーラム

13

会社情報

14

株式情報

14

株主の皆さまへのお知らせ

14

株主優待のお知らせ

15

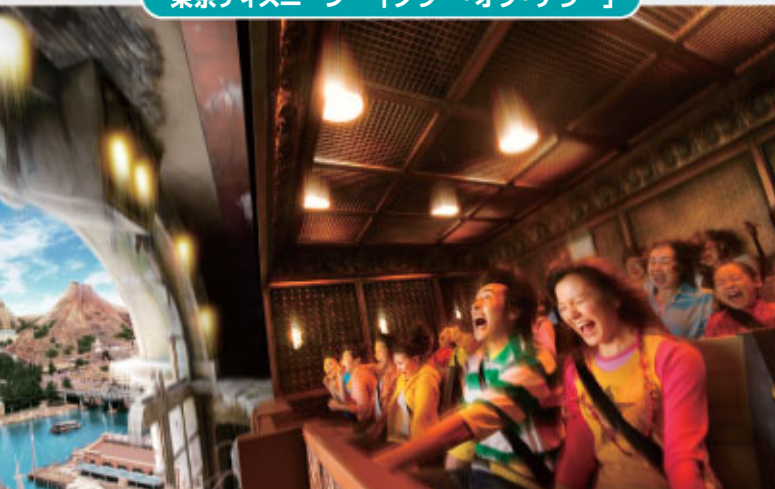
諸手続メモ

15

2007年度中間期の業績は、テーマパーク事業が牽引役となり、前年同期に比べて増収増益となりました。

2007年度中間期は、テーマパーク事業において入園者数、ゲスト1人当たり売上高ともに前中間期を上回ったことや、その他の事業においてディズニーリゾートラインが運賃改定を行ったことなどにより、増収となりました。また、テーマパーク事業において費用の抑制に努めたことなどから、増益となりました。これらの結果、当中間期の売上高は1,631億円(前年同期比1.6%増)、営業利益は163億円(同38.2%増)、経常利益は150億円(同52.2%増)、中間純利益は84億円(同57.6%増)となりました。

東京ディズニーシー「タワー・オブ・テラー」



「東京ディズニーシー 5thアニバーサリー」

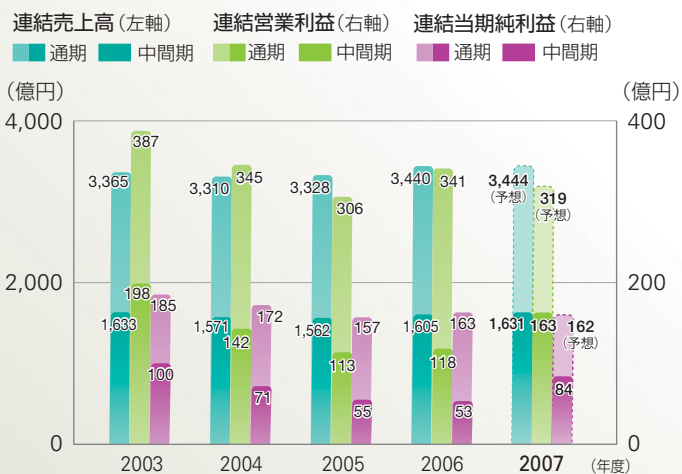


東京ディズニーランド「リロ&スティッチのフリフリ大騒動〜Find Stitch!〜」



東京ディズニーランド「グーフィーのクールパニック」

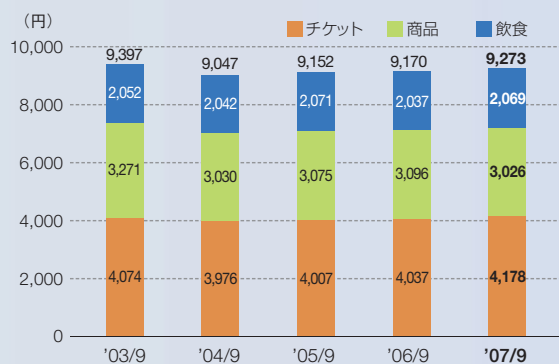
連結売上高・連結営業利益・連結当期純利益



テーマパーク合計入園者数の推移



ゲスト1人当たり売上高



東京ディズニーシー「チップとデールのクールサービス」



東京ディズニーランド「ウェット & ワイルド・パイレーツナイト」

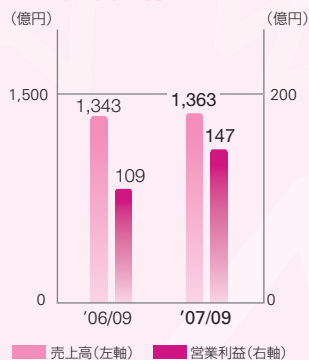


東京ディズニーランド「ディズニー・ハロウィーン」

テーマパーク事業

〔主な施設：東京ディズニーランド、東京ディズニーシー、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ〕

売上高・営業利益



「東京ディズニーシー5thアニバーサリー」

入園者数、ゲスト1人当たり売上高ともに前中間期を上回ったことに加え、費用の抑制により増収増益となりました。

【売上高】1,363億円(前年同期比1.5%増)

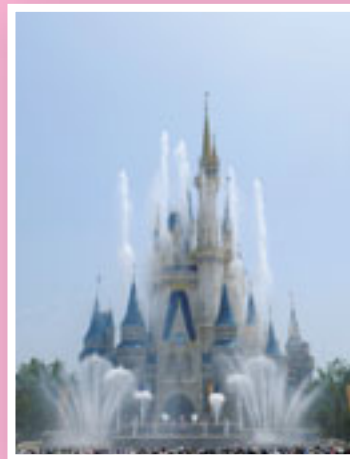
東京ディズニーランドでは、4月からスペシャルイベント「リロ&スティッチのフリフリ大騒動 ～Find Stitch!～」を展開したほか、7月にはアトラクション「カリブの海賊」をリニューアルオープンし、更に、夏休み期間中は暑い夏をより涼しくお楽しみ頂くため、ウォータープログラムを連日公演しました。東京ディズニーシーでは、「東京ディズニーシー5thアニバーサリー」のファイナルプログラムを5月まで展開したほか、前年度にオープンした新アトラクション「タワー・オブ・テラー」が引き続きご好評頂きました。これらの結果、当中間期における2つのテーマパークの合計入園者数は、1,217万人

(前年同期比1.0%増)となりました。また、テーマパークのゲスト1人当たり売上高は、昨年9月にチケット料金改定を行ったことなどにより9,273円(同1.1%増)となりました。

東京ディズニーシー・ホテルミラコスタでは、オープン5周年ならではのプログラムや、ディズニー映画と連動したレストランイベントなど、さまざまなプログラムを実施し、客室稼働率は90%台半ばとなりました。なお、4月には100万室目のゲストをお迎えすることができました。

【営業利益】147億円(同34.6%増)

売上高の増加に加え、販促活動費や施設更新関連費などの固定費を低減したほか、人件費が減少したことにより、営業利益は増加しました。

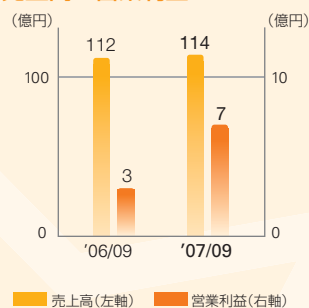


「クール・ザ・ヒート」

複合型商業施設事業

〔主な施設：イクスピアリ、ディズニーアンバサダーホテル〕

売上高・営業利益



イクスピアリ、ディズニーアンバサダーホテルともに好調に推移し、増収増益となりました。

【売上高】114億円(同1.3%増)

イクスピアリでは、3月から4月にかけて新店舗の導入や店舗のリニューアルを実施したほか、開業7周年にあわせ、記念アイテムやスペシャルメニューを提供するなど、イクスピアリならではの魅力を訴求しました。ディズニーアンバサダーホテルでは、東京ディズニーランドのスペシャルイベントと連動したイベントを展開し、客室稼働率は90%台前半となりました。

【営業利益】7億円(同144.2%増)

売上高の増加に加え、前中間期に発生したディズニーアンバサダーホテルの全面リニューアル費用が当中間期は発生しなかったことなどにより、営業利益は増加しました。



「ディズニーアンバサダーホテル」



「イクスピアリ」



東京ディズニーシー



東京ディズニーシー・
ホテルミラコスタ



ディズニーアンバサダーホテル



東京ディズニーランド



ディズニーリゾートライン



ボン・ヴォヤージュ

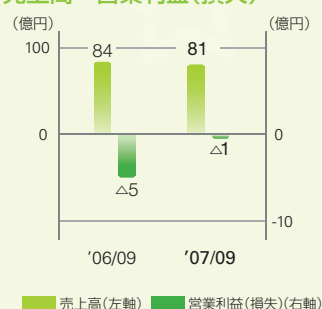


イクスピアリ

リテイル事業

【主な施設：ディズニーストア】

売上高・営業利益(損失)



費用構造改革に努めた結果、
営業損失は縮小しました。

【売上高】81億円(同4.1%減)

ディズニーストアでは、オープン15周年記念商品や、ディズニー映画『パイレーツ・オブ・カリビアン/ワールド・エンド』と連動した商品など、ディズニーの世界観およびオリジナリティあふれる商品を展開しました。しかしながら、店舗数が前中間期末から4店舗減少し50店舗となったことなどから、売上高は前中間期を下回りました。

【営業損失】1億円(同3億円の改善)

前年度より引き続き実施している費用構造改革により、店舗賃料、物流費、本社オフィス賃料、人件費などが低減したことなどにより、営業損失は前中間期に比べ縮小しました。



「ディズニー映画『パイレーツ・オブ・カリビアン』グッズ」

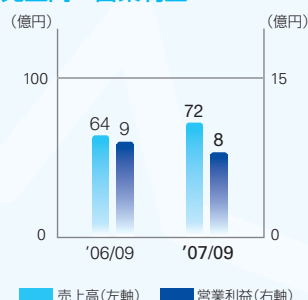


「ディズニーストア」

その他の事業

【主な施設：パーム & ファウンテンテラスホテル、ディズニーリゾートライン】

売上高・営業利益



増収となったものの、映画関連費用などが発生し減益となりました。

【売上高】72億円(同12.0%増)

パーム & ファウンテンテラスホテルでは、積極的な宣伝活動やオリジナルパッケージの販売など、さまざまな施策を実施し、客室稼働率は約80%となりました。ディズニーリゾートラインでは、4月に運賃改定を行ったことにより増収となりました。

【営業利益】8億円(同16.4%減)

売上高が増加した一方、映画関連費用などを計上したため、営業利益は減少しました。



「ディズニーリゾートライン」



「パーム & ファウンテンテラスホテル」

Point
売上高

1

テーマパーク事業では、入園者数、ゲスト1人当たり売上高ともに前中間期を上回ったほか、その他の事業において、ディズニーリゾートラインが運賃改定を行ったことなどから、売上高は前年同期比1.6%増となりました。

Point
営業利益

2

テーマパーク事業において、固定費および人件費などが減少したことにより、営業利益は前年同期比38.2%増となりました。

Point
中間純利益

3

特別損失が発生したものの、経常利益が増加したことにより、中間純利益は前年同期比57.6%増となりました。

Point
現金及び現金同等物の
中間期末残高

4

営業活動や財務活動によって得られたキャッシュを、東京ディズニーリゾート各施設への投資や、短期運用を目的とした有価証券等の取得に充当したことなどにより、期首残高から156億円減少しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2006年度中間期 (2006.4~2006.9)	2007年度中間期 (2007.4~2007.9)	増減	増減比
① 売上高	160,551	163,114	2,563	1.6%
売上原価	132,697	130,192	△2,504	△1.9
売上総利益	27,853	32,922	5,068	18.2
販売費及び一般管理費	16,025	16,580	555	3.5
② 営業利益	11,828	16,341	4,513	38.2
営業外収益	872	1,260	388	44.5
営業外費用	2,815	2,561	△254	△9.0
経常利益	9,884	15,040	5,155	52.2
特別損失	416	547	131	31.6
税金等調整前 中間純利益	9,468	14,493	5,024	53.1
法人税、住民税 及び事業税	4,881	4,837	△44	△0.9
法人税等調整額	△760	1,224	1,985	—
少数株主利益	4	8	3	75.5
③ 中間純利益	5,342	8,423	3,080	57.6

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2006年度中間期 (2006.4~2006.9)	2007年度中間期 (2007.4~2007.9)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,937	20,308	△4,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,146	△42,499	△18,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,019	6,502	39,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	0	△11
現金及び現金同等物の増減額	△32,216	△15,689	16,527
現金及び現金同等物の期首残高	84,328	46,878	△37,450
④ 現金及び現金同等物の中間期末残高	52,112	31,189	△20,923



「東京ディズニーシー50thアニバーサリー」



「クール・ザ・ヒート」

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2006年度末 (2007.3.31)	2007年度中間期末 (2007.9.30)	増減
資産の部			
流動資産	103,725	116,913	13,188
現金及び預金	25,393	26,693	1,299
有価証券	44,472	52,817	8,344
その他	33,859	37,403	3,544
固定資産	596,047	577,223	△18,824
有形固定資産	526,216	526,268	52
建物及び構築物	327,654	325,107	△2,547
機械装置及び運搬具	62,693	57,452	△5,241
土地	93,301	93,301	—
その他	42,567	50,408	7,840
無形固定資産	13,738	13,736	△1
投資その他の資産	56,092	37,217	△18,874
資産合計	699,772	694,137	△5,635
負債の部			
流動負債	73,520	156,200	82,679
一年以内に償還する社債	—	100,000	100,000
その他	73,520	56,200	△17,320
固定負債	241,251	149,825	△91,426
社債	169,984	69,986	△99,998
長期借入金	50,000	60,000	10,000
その他	21,266	19,838	△1,427
負債合計	314,771	306,025	△8,746
純資産の部			
株主資本	378,270	383,839	5,569
資本金	63,201	63,201	—
資本剰余金	111,403	111,403	—
利益剰余金	233,932	209,249	△24,682
自己株式	△30,265	△14	30,251
評価・換算差額等	6,588	4,121	△2,466
その他有価証券評価差額金	6,348	3,931	△2,416
繰延ヘッジ損益	240	190	△49
少数株主持分	141	149	8
純資産合計	385,000	388,111	3,110
負債純資産合計	699,772	694,137	△5,635

Point 5 流動資産

現金及び預金が増加したことや、投資有価証券から有価証券への振り替えを行ったことなどにより、前年度末比12.7%増となりました。

Point 6 固定資産

東京ディズニーリゾート各施設の減価償却が進んだ一方、東京ディズニーランドホテルなどの設備投資を行ったことなどから、有形固定資産は前年度末と同様となりました。また、投資有価証券から有価証券への振り替えが発生し、投資その他の資産が減少したことなどにより、固定資産は前年度末比3.2%減となりました。

Point 7 有利子負債

当中間期末の有利子負債残高は、地震対応のコミットメントラインに基づいた100億円の借入などにより、前年度末比4.0%増の2,449億円となりました。

Point 8 負債合計

地震対応のコミットメントラインに基づいた借入(100億円)を行いました。未払金の減少などにより、前年度末比2.8%減となりました。

Point 9 純資産合計

中間純利益が増加したことにより、純資産合計は前年度末比0.8%増となり、自己資本比率は55.9%(同0.9ポイント増)となりました。なお、本年6月には利益剰余金と相殺し、自己株式5,000,000株を消却しました。

(注)掲載した連結財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、連結損益計算書の増減比は単位未満を四捨五入、それ以外はすべて単位未満を切り捨てて表示しています。

東京ディズニーリゾートの更なる 魅力の向上により、利益成長を目指します。

株主・投資家の皆さま、こんにちは。

中期経営計画「Innovate OLC 2010」(※下記で参照ください。)の初年度となる2007年度中間期の連結業績は、コア事業であるテーマパーク事業が牽引役となり、増収増益となりました。これも一重に、ゲストや株主をはじめとする皆さまからのご支援があったからこそと考えております。心より厚く御礼申し上げます。

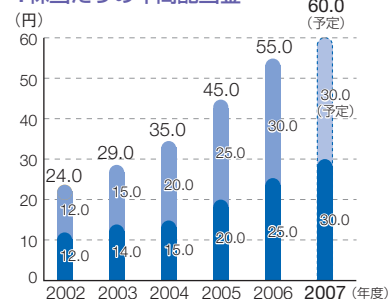
そして、当中間期の好調な結果を踏まえ、年間の予想について上方修正いたしました。当初は、税制改正に伴う減価償却費の増加や来年度オープンする新規施設の開業前準備費用が発生することなどから、前年度に比べ減益を見込んでおりましたが、上方修正の結果、当期純利益は前年度並みとなる見込みです。

上記結果を踏まえ、中期経営計画にて定めた「連結配当性向35%以上」の方針に基づき、中間配当金は前中間期から5円増配することを決定いたしました。これに伴い、2007年度の年間配当金は1株につき60円を予定しております。

来年度は東京ディズニーリゾート25周年に加え、2つの新規施設もオープンするなど、東京ディズニーリゾートの魅力が更に拡充する年となります。皆さまのご期待にお応えできるよう全社をあげて鋭意準備を進めております。

引き続きOLCグループにご期待くださいますようお願い申し上げます。

1株当たりの年間配当金



2007年度の年間配当金は、 1株につき60円を予定 (前年度より5円増配)

2007年度中間配当金につきましては、1株につき30円とさせていただきます。なお、期末配当金につきましても30円を予定しており、年間では60円(前年度より5円増配)とさせていただきます。

2007年12月

代表取締役社長(兼)COO

福永祥郎

※中期経営計画

Innovate OLC 2010 2007年度～2010年度 ～「涙が出るくらい」の感動を創造し続けます～

<基本方針>

コア事業 (東京ディズニーリゾート) の更なる強化	クオリティの向上
	ターゲットの明確化
	コストの効率化
新たな成長基盤の確立	事業開発方針の策定
	事業開発に関する意思決定フローの整備
	有利子負債の削減
OLCグループ価値の向上	株主還元
	人材育成
	CSR

2007年度連結業績予想の修正 (2007年4月1日～2008年3月31日) (単位: 億円)

	前回発表予想(A) (2007年5月8日発表)	今回修正予想(B)	増減額(B-A)	増減率(%)	<参考> 前年度実績
売上高	3,421	3,444	22	0.7	3,440
営業利益	289	319	29	10.1	341
経常利益	246	278	31	12.7	301
当期純利益	146	162	16	11.2	163

中期経営計画の目標値

	2010年度	2007年度(予想)
(連結)		
当期純利益	270億円レベル	162億円
配当性向	35%以上 (配当金額: 100円レベル)	配当金額: 60円

2007年度通期予想

2007年度通期予想は、税制改正に伴う減価償却費の増加や来年度オープンする新規施設の開業前準備費用が発生するものの、当中間期の好調な結果を踏まえ年間の予想も上方修正し、当期純利益は前年度並みになる見込みです。

テーマパーク事業

【売上高】2,871億円(前年度比0.7%減)

クリスマスのスペシャルイベントや今年度で最後となる東京ディズニーランド「シンデレラ プレゼンテーション:ライツ・オブ・ロマンスーグランドフィナーレ!」(詳細は11ページからのイベントカレンダーをご参照ください。)をはじめ、今期も各テーマパークならではのイベントやプログラムを展開します。しかしながら、今年度は東京ディズニーシー5周年の翌年であることから、2つのテーマパーク合計の入園者数は2,540万人(同1.6%減)を見込んでいます。

【営業利益】291億円(同7.5%減)

売上高の減少に加え、税制改正に伴う減価償却費の増加や、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタの全面リニューアル費用の発生などにより、営業利益は減少する見込みです。



「クリスマス・ファンタジー」

複合型商業施設事業

【売上高】235億円(同1.8%増)

イクスピアリでは、ハロウィーンやクリスマスなど、季節にあわせたイベントを展開します。また、ディズニーアンバサダーホテルでは、テーマパークイベントに連動したスペシャルプログラムやディズニーホテルならではのキャンペーンなどを展開します。

【営業利益】15億円(同48.6%増)

売上高の増加に加え、前年度に発生したディズニーアンバサダーホテルの全面リニューアル費用が今年度は発生しないことにより、営業利益は増加する見込みです。



「ピアリ・クリスマス」

リテイル事業

【売上高】177億円(同0.6%減)

ディズニーストアでは、クリスマスやバレンタインデーなどの季節イベントと連動し、さまざまなプログラム商品の展開で売上拡大に努めていきます。また、11月には新たに2店舗がオープンします。

【営業損失】2億円(同7億円の改善)

前年度より実施している費用の抑制が年間で寄与し、営業損失は前年度より縮小する見込みです。なお、来年度には黒字転換を、2010年度には営業利益率4%を目指していきます。



「ディズニーストア船橋ららぽーとTOKYO-BAY店」

その他の事業

【売上高】159億円(同14.5%増)

パーム&ファウンテンテラスホテルでは、引き続き積極的な宣伝活動やオリジナルパッケージの販売などを行います。また、ディズニーリゾートラインでは、4月に実施した運賃改定が年間で寄与する見込みです。

【営業利益】13億円(同44.0%減)

売上高は増加するものの、来年度オープンする「東京ディズニーランドホテル」と「シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京」の開業前準備費用や、映画関連費用が発生するため、営業利益は減少する見込みです。

夢よ、ひらけ。

「東京ディズニーランド」が開園してから四半世紀。
2008年4月からの1年間、“夢よ、ひらけ。”を合言葉に、
リゾートのすべての施設が一つになって、
この25周年を盛大にお祝います。



1983年4月15日に「東京ディズニーランド」が開園してから
25年。東京ディズニーリゾートは、お迎えするすべてのゲストの
皆さまに、たくさんの“夢”を提供し続けてきました。

ここを訪れるすべての人々が描く“夢”。ここで過ごす時間と
空間がゲストの心に刻む“夢”。たくさんの“夢”をひらく鍵が、
東京ディズニーリゾートにあります。

25周年を迎える東京ディズニーリゾートは、1年間にわたる
さまざまなプログラムを通じて、ゲスト一人ひとりの“夢”へと
続く鍵を開けていきます。

これからもずっと、たくさんのゲストの“夢”がかなう場所であ
り続けるために。

オープニング	2nd ステージ	3rd ステージ	4th ステージ	フィナーレ
(4月15日～7月7日) 東京ディズニーリゾートの 25周年のはじまり。 「夢よ、ひらけ。」宣言	(7月8日～9月11日) あらゆる場所へ、 あらゆる時間へ。 冒険と好奇心の夢よ、ひらけ。	(9月12日～11月上旬) 誰も観たことのない世界へ。 驚きと感動の夢よ、ひらけ。	(11月上旬～1月中旬) 大切な人とかけがえのない クリスマスを。 愛とときめきの夢よ、ひらけ。	(1月中旬～4月14日) 25周年のクライマックス。 グランドフィナーレは華やかに。 夢よ、ひらけ。 いつまでも、どこまでも。
東京ディズニーランドニューディパレード 「ジュビレーション！」 「東京ディズニーリゾート25thアニバーサリー」 は、「東京ディズニーランド」に登場する新しい昼の パレードで幕を開けます。		「東京ディズニーランドホテル」 グランドオープン [7月8日(火)] 東京ディズニーランドのエントランスに面した3番 目のディズニーホテルがいよいよ開業します。ディ ズニーの世界に包まれた“夢”のようなひとときをお 過ごしください。		「シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京」 グランドオープン [10月1日(水)] エンターテインメントショー集団、「シルク・ドゥ・ソレイ ユ」専用の常設劇場がオープンします。伝統的なサーカ スの概念をはるかに超えた、肉体が躍動する幻想的な 世界が、ゲストに“夢”のような驚きと感動を与えます。

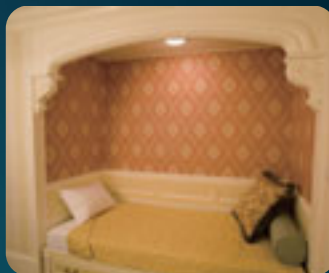


東京ディズニーランドホテル 2008年7月8日(火)グランドオープン



モノレールの駅舎をはさみ、東京ディズニーランドと向かい合う
かたちで建つ「東京ディズニーランドホテル」。ヴィクトリア朝様
式のデザインにより、パークからホテルのエントランスまで、
ディズニーの世界観が途切れることなく展開されます。

パークで過ごしたすてきな時間の余韻にひたりながら、
ディズニーストーリーに包まれて眠る、“夢”のようなひとときをお届けします。



ディズニーホテルでは初めての、壁のくぼみ
“アルコーヴ”を使った4台目のベッド「アル
コーヴベッド」を設置。大人4名様がそれぞ
れの空間で快適な時間をお過ごし頂けます。

- ヴィクトリア朝様式のエレガントなデザイン
- ディズニーホテルで最多客室数を誇る705室
- ご家族やグループでゆったりと過ごせる空間

【施設概要】

- ・ 客室:地上1階～9階、計705室、全19タイプ
- ・ 駐車場:約500台
- ・ 料飲施設:3店舗
- ・ 商品店舗:4店舗
- ・ 宴会場:計4室
- ・ 平均客室単価:50,000円台

CIRQUE DU SOLEIL®



THEATRE
TOKYO

シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京

2008年10月1日(水)グランドオープン

“躍動する生命の芸術” 「シルク・ドゥ・ソレイユ」

東京ディズニーリゾートに、新たな魅力が加わります。

シルク・ドゥ・ソレイユとは

フランス語で「太陽のサーカス」を意味する「シルク・ドゥ・ソレイユ」。

これまでに世界五大陸200都市を超える7,000万人以上の観客に、喜びと驚き、感動を提供し続け、世界中で高い評価を得ているエンターテインメントショー集団です。

「シルク・ドゥ・ソレイユ」の独自性

躍動と幻想美が融合された 究極の総合芸術

従来のサーカスの枠組みを超え、限界を超えた身体パフォーマンスに、ダイナミックな舞台空間演出と幻想美を融合させたエンターテインメントを創造することで、人間の限りない可能性をお伝えします。

演出をつとめるのは、世界が認めた才能、フランソワ・ジラルド

オペラそして演劇界では大胆なステージ構成で知られているフランソワ・ジラルド(François Girard)は、数々の作品で賞を受賞。監督を務めた映画『レッド・バイオリン』(日本公開1999年4月)がアカデミー賞(音楽賞)を受賞するなど、世界中から注目を集めています。オペラ、演劇、映画すべてにおいて秀でた才能をもつジラルドがシルク・ドゥ・ソレイユと出会うことで誰も見たことのない最高のショーが生まれます。



外観完成予想図

シアター内ロビー完成予想図

施設概要

客席数	2,170 席
面積	建築約 5,400m ² 延床約 14,000m ²
演目	当劇場オリジナル演目

創り手の思い



シアトリカル事業部長
上野 左千夫

皆さま、こんにちは。いよいよ来年10月、ここ東京ディズニーリゾートに「シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京」がオープンします。人間の肉体を極限まで使った“躍動する生命の芸術”といえる「シルク・ドゥ・ソレイユ」の最高のパフォーマンスを、この常設シアターでしか観られないオリジナル演目で皆さまにご提供できることは、私たちにとって大きな誇りです。シルク・ドゥ・ソレイユ、ウォルト・ディズニー・カンパニー、そしてオリエンタルランドの提携で生まれたプロジェクトである「シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京」の開業は、常にゲストのリゾートの体験価値を高めることを希求してきた私たちにとって、大人が主役になれるような新たな楽しみ方のご提供であり、東京ディズニーリゾートが遊園地からテーマパークという文化を生み出したように、日本に新たな劇場文化を創造していくとする挑戦であります。「シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京」の誕生で、東京ディズニーリゾートの魅力が更に向上し、それにより日本のリゾートの新しい価値観が創出されることを期待しています。

東京ディズニーリゾートは、季節にあわせた魅力あふれるイベントやプログラムでいっぱいです。今後のイベントを

11月

12月

1月

クリスマスのスペシャルイベント

●「クリスマス・ファンタジー」

2007.11.7~12.25

巨大なクリスマスツリーや数え切れないほどのイルミネーションに彩られたパークでは、クリスマスソングにのせたさまざまなショーやパレードが繰り広げられます。



アトラクションのスペシャルプログラム

●「イツ・ア・スモールワールド“ベリーメリーホリデー”」

2007.11.3~2008.1.4

ウィンターホリデーを過ごす世界中の子供たちの様子がとってもかわいらしい、この時期だけのスペシャルバージョン。建物全体も美しい雪の結晶に包まれ、ロマンティックに衣替え！



アトラクションのスペシャルプログラム

●「ホーンテッドマンション“ホリデーナイトメア”」

2007.9.12~2008.1.13

映画『ティム・バートンのナイトメア・ビフォア・クリスマス』の主人公ジャックが、「ホーンテッドマンション」の屋敷全体を装飾！期間限定のスペシャルバージョンです。



© Disney Tim Burton's "The Nightmare Before Christmas" © Touchstone Pictures.

年末のスペシャルイベント

●「東京ディズニーランド・カウントダウン・プレビューナイト2008」

2007.12.28~29 特別営業時間帯

年越しのカウントダウンパレードを、大晦日に先駆けて開催します！一足早い2008年の幕開けをゆったりとお楽しみください。

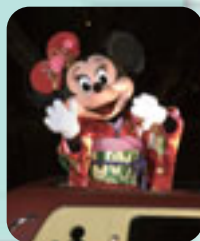
★ご入園には専用パスポートが必要です。

●「東京ディズニーランド・カウントダウン・パーティー2008」

2007.12.31 特別営業時間帯

新しい年の幕開けをカウントダウンする盛大なセレモニーを、東京ディズニーランドで特別営業時間帯に実施します。

★「東京ディズニーランド・カウントダウン・パーティー2008」のパスポート販売は終了しています。



年末のスペシャルイベント

●「東京ディズニーシー・ニューイヤーズ・イヴ・セレブレーション2008」

2007.12.31 特別営業時間帯

新しい年の幕開けをカウントダウンする盛大なセレモニーを、東京ディズニーシーで特別営業時間帯に実施します。

★「東京ディズニーシー・ニューイヤーズ・イヴ・セレブレーション2008」のパスポート販売は終了しています。



クリスマスのスペシャルイベント

●「ハーバーサイド・クリスマス」

2007.11.7~12.25

パークのいたるところでクリスマスならではのエンターテイメントが繰り広げられます。ロマンティックな“海と街のクリスマス”をお楽しみください！



クリスマスのスペシャルイベント

●「ピアリ・クリスマス」

2007.11.3~12.25 イクスピアリ

イクスピアリの街が、“ピュアホワイト・クリスマス”をテーマに、白い幻想的なイルミネーションに包まれます。

★期間中の土・日・祝日と12月20日(木)~25日(火)の夜は、“光と雪と音楽で綴る奇跡の物語”をテーマにしたイルミネーションショー「スノーライト・イクスピアリ」を開催します！音楽にあわせてリズムカルに輝くイルミネーションとクライマックスで舞い降りる雪が、冬の夜空を華やかに彩ります。



11月

12月

1月

さまざまな ご案内します！

2月

3月

冬のスペシャルプログラム

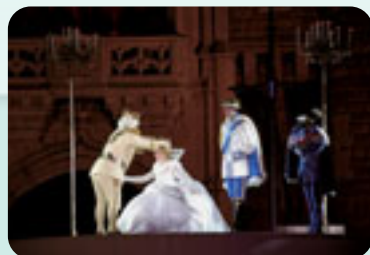
ナイトタイム・エンターテインメント

●「シンデレラブレーション：ライツ・オブ・ロマンス・グランドフィナーレ！」

2008.1.17~3.14

シンデレラの戴冠式とそれを祝う壮大なナイトタイム・エンターテインメント！6回目の公演となる今回、グランドフィナーレを迎えます。

★「シンデレラブレーション：ライツ・オブ・ロマンス・グランドフィナーレ！」公演期間中は、「東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ」は休演します。



冬のスペシャルプログラム

ウィンタープログラム

●「東京ディズニーシー・シーズン・オブ・ハート」

2008.1.17~3.14

1年で最も澄んだ空気に包まれるこの季節、世界で一番ビューな空間に生まれ変わるパークで、大切な人とともに心温まるひとときをお過ごしください。



冬のスペシャルプログラム

●「ピー・ア・ディズニー・プリンセス」

2008.1.7~4.6

ディズニーアンバサダーホテル

ディズニー映画『白雪姫』をテーマにしたイベントを開催！すべての客室に「白雪姫と七人のこびと」がテーマのルームアメニティーが登場するほか、特別なプリンセスストーリーを体験できるプログラムをご用意します。

●「東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ・シーズン・オブ・ハート」

2008.1.17~3.14

東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ

バレンタインデー、ホワイトデーの季節にちなみ、大切な人といつもよりちょっと贅沢でロマンチックなひとときをお過ごし頂けるお料理やデザートをご用意します。

※アトラクション、ライブエンターテインメントなどの開催は、天候その他の理由により変更または中止になる場合があります。

※イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合があります。

2月

3月

インフォメーション

東京ディズニーリゾート情報

東京ディズニーリゾート・オフィシャルホームページ

URL

www.tokiodisneyresort.co.jp



※インターネット対応携帯電話からもご覧頂けます。
※トップページの画像などは随時更新されます。

お問い合わせ 東京ディズニーリゾート・インフォメーションセンター

総合案内 TEL: 0570-00-8632 (9:00~19:00)

音声情報サービス TEL: 0570-00-3932 (24時間)

宿泊などのご予約 東京ディズニーリゾート総合予約センター

TEL: 045-683-3333

9:00~21:00 宿泊のご予約・宿泊に伴うレストランのご予約
10:00~21:00 レストランのご予約・予約全般のお問い合わせ
※東京ディズニーランドホテルの宿泊予約は下記の専用ダイヤルをご利用ください。

東京ディズニーランドホテル専用予約ダイヤル

TEL: 0570-05-1118 <2008年1月8日より>

9:00~21:00 宿泊のご予約・宿泊に伴うレストランのご予約
10:00~21:00 ご予約全般のお問い合わせ
※PHS・一部のIP電話・国際電話の方は045-345-0708 <2008年1月8日より>

ディズニーホテル レストランインフォメーション

TEL: 0570-064-333 (9:00~19:00)

旅行会社経由でディズニーホテルへの宿泊予約をされた方、または宿泊されない方はこちらでディズニーホテル内レストランのプライオリティ・シーティングの受付を承ります。

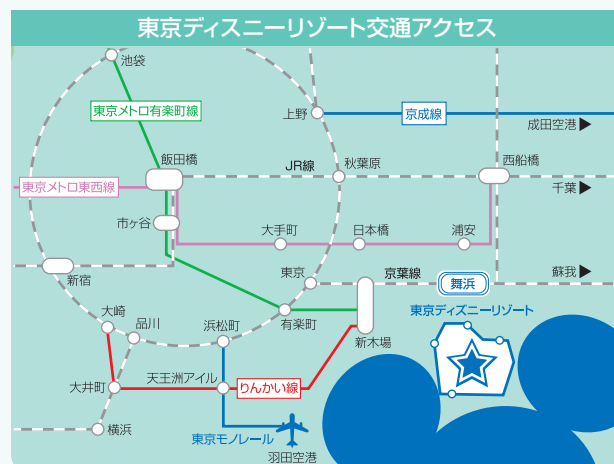
ご意見 東京ディズニーリゾート・ゲストご相談室

TEL: 047-310-0733 (9:00~18:00)

交通情報

東京ディズニーリゾート交通情報テレホンサービス

TEL: 0570-00-3388 (24時間)



アンケートのご質問にお答えします。

OLCグループは、株主通信を株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションツールとして充実させていきたいと考えています。ぜひ、添付のアンケートはがきでご意見・ご質問をお寄せください。頂戴したお声は本誌上および当社IRサイト(www.olc.co.jp/ir)で、可能な限り回答させて頂くとともに、経営に反映させるよう努めています。

なお、個人情報保護の観点から、氏名などの個人情報記入欄を廃止しました。

前回アンケート結果 回答総数2,269通

内容が良かったページ(複数回答可)

イベントカレンダー	1,266人
中期経営計画	1,169人
2006年度の業績概況	826人
トップメッセージ	474人
OLCフォーラム	338人
その他	41人

Q テーマパークから出るごみはどのように処理されるのですか？(東京都、40代女性)

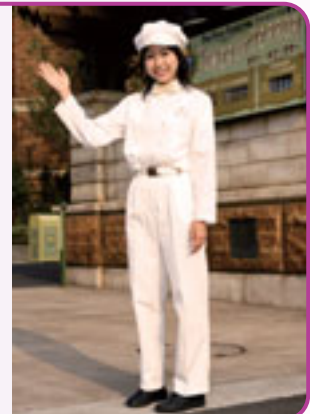
テーマパークの運営において発生するすべてのごみは、できる限りリサイクルするよう努めています。回収したごみは更に細かく分け、60%以上を資源として循環させています。特に、食品廃棄物は生ごみ、食用油ともほぼ全量をリサイクルしています。(具体的なリサイクルの対象品目と資源化後の用途は以下の図をご覧ください。)

更に、リサイクルだけではなく、使い捨て食器から陶磁器や金属の食器への切り替えや、レストルーム(手洗所)で使用される紙タオルをハンドドライヤーに切り替えたりすることなどで、テーマパークにおけるごみの発生自体を減らすことにも努めています。

生ごみ	▶	発電、堆肥化	びん	▶	ガラス原料化他
食用油	▶	飼料化、工業製品(塗料他)化	わりばし	▶	製紙パルプ化
植栽ごみ	▶	堆肥化	段ボール	▶	段ボール原料化
PETボトル	▶	繊維化他	古紙・紙コップ・紙バック	▶	再生紙原料化
缶、金属類	▶	金属原料化	その他の紙、プラスチックなど	▶	固形燃料化

トピックス

テーマパークの清掃を担当するカストーディアルキャストが身に付けているコスチュームには、PETボトルのリサイクルによって作られた糸が使われています(混入率65%)。また、清掃用に使用している道具の一部にも、再生プラスチック素材が使われています。



会社情報

会社概要

商 号	株式会社オリエンタルランド
証券コード	4661
設 立	1960年7月11日
本社所在地	〒279-8511 千葉県浦安市舞浜1番地1
総 資 産	689,161百万円
代 表 者	福島 祥郎
従 業 員 数	2,175名
事 業 内 容	テーマパークの経営・運営
主要取引銀行	株式会社みずほコーポレート銀行 中央三井信託銀行株式会社
格 付	AA (JCR 日本格付研究所) AA- (R&I 格付投資情報センター)
連結子会社	20社

(2007年9月30日現在)

役員

取締役・監査役

加賀見俊夫	代表取締役会長(兼)CEO
福島 祥郎	代表取締役社長(兼)COO
長岡 彰夫	代表取締役副社長
砂山 起一	代表取締役
柴 洋二郎	取締役
高桑 誠	取締役
入江 教夫	取締役
大和田 誠	取締役
鈴木 茂	取締役
高野由美子	取締役
上西京一郎	取締役
田中順一郎	取締役(社外)
花田 力	取締役(社外)
戸村 光夫	常勤監査役(社外)
土屋 文夫	常勤監査役
大塚 弘	監査役(社外)
岩沙 弘道	監査役(社外)

執行役員

福島 祥郎	社長執行役員
長岡 彰夫	副社長執行役員
砂山 起一	専務執行役員
柴 洋二郎	専務執行役員
岡村 健	常務執行役員
高桑 誠	常務執行役員
田丸 泰	常務執行役員
入江 教夫	常務執行役員
大和田 誠	執行役員
佐藤 健司	執行役員
鈴木 茂	執行役員
高野由美子	執行役員
上西京一郎	執行役員
菊池 和年	執行役員
宇田川勝久	執行役員
水嶋健次郎	執行役員
高延 博史	執行役員
永嶋 悦子	執行役員
安岡 譲治	執行役員

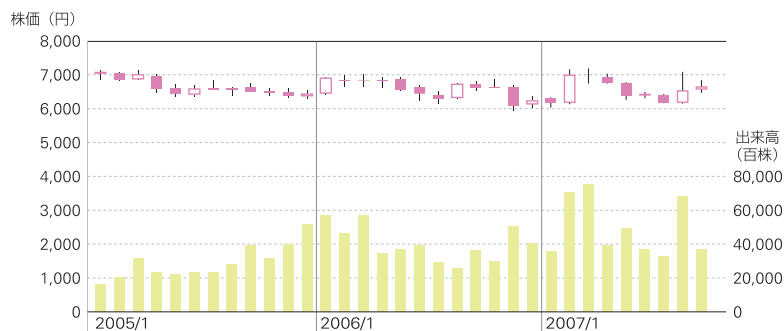
株式情報

株式の状況

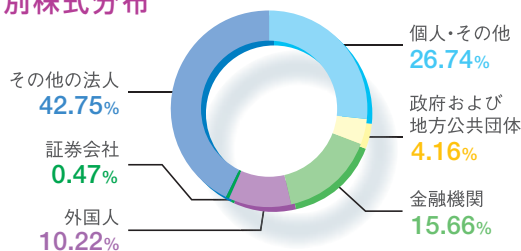
資 本 金	63,201百万円	
発行済株式総数	95,122,540株	
(本年6月に自己株式5,000,000株を消却いたしました。)		
株 主 数	120,368名	
大 株 主		
株主名	所有株式数(千株)	出資比率(%)
京成電鉄株式会社	19,435	20.43
三井不動産株式会社	15,180	15.95
千葉県	3,300	3.46
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,014	2.11
京成開発株式会社	1,980	2.08

株価および出来高の推移

(2007年9月30日現在)



所有者別株式分布



株主の皆さまへのお知らせ

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
その他の基準日	
上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定	

株券の電子化について

2009年1月の実施を目標に株券の電子化に向けた準備が進められています。株券をお手元(自宅、金庫など)にお持ちの場合は、ご本人名義になっているかご確認ください。ご本人名義になっている場合は株主の権利は失われませんが、そのままでは株式の売買はできませんのでお取引証券会社に移す必要があります。ご本人名義になっていない場合は株主の権利を失うおそれがありますので、名義書換についてはお取引証券会社または中央三井信託銀行株式会社証券代行部(電話0120-78-2031)にお問い合わせください。なお、証券会社を通じて証券保管振替制度をご利用頂くと、ご本人による名義書換手続きが不要となります。株券を証券会社(証券保管振替機構)にお預けの場合は、特段の手続きは必要ありません。株主の権利は自動的に確保されます。 ※具体的な実施日は政令で決定されます。

株主優待のお知らせ

2007年9月末日および2008年3月末日の年2回を割当基準日とし、その時点における所有株式数(株主名簿、実質株主名簿双方に記載のある場合は名寄せした合計の株式数)に応じて、株主用パスポート(※下記で参照ください)をお配りいたします。なお、「入場制限」を実施している時間帯はご利用頂けませんのであらかじめご了承ください。

※「東京ディズニーランド」または「東京ディズニーシー」どちらかのパークで利用可能な1デーパスポート/有効期限:1年、使用不可日:12月31日などの特別営業時間帯

2007年9月末日現在の対象株主の皆さまには、株主用パスポートを2007年12月10日に発送いたしました。



	2007年9月末日	2008年3月末日	合計
100株以上	1枚	1枚	2枚
200株以上	2枚	2枚	4枚
300株以上	3枚	3枚	6枚
400株以上	4枚	4枚	8枚
500株以上	5枚	5枚	10枚
3,000株以上	6枚	6枚	12枚

諸手続きメモ

◆株主用パスポートについて

2007年12月10日発送の株主用パスポートがお手元に届かない場合、1月10日までは中央三井信託銀行株式会社証券代行部(TEL: 0120-78-2031)へ、1月11日以降は株式会社オリエンタルランド総務部総務グループ(TEL: 047-305-3017)へお問い合わせください。

◆住所など変更手続きについて

住所、氏名、届出印、配当金の振込口座などの変更は、中央三井信託銀行株式会社証券代行部へご連絡ください。保管振替制度を利用され、お手元に株券がない方はお取引証券会社にお申し出ください。

◆配当金について

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局へお持ちください。今後、銀行口座またはゆうちょ銀行貯金口座への振込をご希望の方は、中央三井信託銀行株式会社証券代行部へ「配当金振込指定書」をご請求ください。

◆払渡期間経過後のお取り扱い

配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、中央三井信託銀行株式会社証券代行部までご郵送頂くか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

◆株券を喪失した際の手続きについて

株券を喪失された場合は、中央三井信託銀行株式会社証券代行部までお問い合わせください。

株主名簿管理人

東京都港区芝3丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-78-2031 (平日9:00~17:00)

同取次所

中央三井信託銀行株式会社本店および全国各支店
日本証券代行株式会社本店および全国各支店

各種情報・お問い合わせ先

株式会社オリエンタルランド会社情報

株式会社オリエンタルランド・ホームページ

URL
www.olc.co.jp

※過去の株主通信もご覧いただけます。

※トップページの画像などは随時更新されます。



株主全般に関するお問い合わせ

株式会社オリエンタルランド 総務部総務グループ

TEL: 047-305-3017 (平日9:00~17:30)

株主通信およびアンケートに関するお問い合わせ

株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

TEL: 047-305-2035 (平日9:00~17:30)

電話番号はおかけ間違いのないようお願いいたします。

免責事項

本誌にはさまざまな予測や見通しが含まれています。当社の事業は、顧客嗜好、社会情勢、経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っています。従いまして、本誌で述べられている予測や見通しには不確実性が含まれていることをご承知おください。

The copyrights to the Disney characters and scenes from Tokyo Disneyland, Tokyo DisneySea, Disney Ambassador Hotel, Tokyo DisneySea Hotel MiraCosta, Disney Resort Line and Disney Store Japan are owned by Disney Enterprises, Inc. ©Disney Enterprises, Inc.